



報道機関 各位

平成 24 年 10 月 9 日

国立大学法人和歌山大学
国立大学法人東北大学

国際宇宙ステーション放出衛星「RAIKO」続報
衛星からの信号を受信し、衛星の状態が正常であることを確認しました

平成 24 年 10 月 5 日にプレスリリースいたしました超小型衛星「RAIKO」（2012 年 10 月 4 日 23 時 37 分（日本時間）国際宇宙ステーションから宇宙空間へ放出）に関する続報をお送りします。

東北大学局は、2012 年 10 月 6 日 19 時 30 分（日本時間）頃からの可視時間帯において、超小型衛星「RAIKO」からの試験電波信号の受信に成功しました。信号の状態から、「RAIKO」は正常であることが確認されました。

今後は、引き続き運用を継続し、初期観測データがある程度まとまった段階で、記者発表する予定です。

※このミッションは、従来、ロケットで軌道に運ばれている人工衛星をISSの「きぼう」日本実験棟から船外に直接放出して軌道に乗せるという、世界初の試みであり、「RAIKO」は、和歌山大学が代表機関となった文部科学省超小型衛星研究開発事業（通称「UNIFORM プロジェクト」）で開発される一連の衛星に対する先駆的な位置付けとして、和歌山大学と東北大学が連携して製作・試験・運用を行う衛星です。

<問い合わせ先>

和歌山大学：

宇宙教育研究所 秋山演亮

TEL: 073-457-8505

E-mail: ifes_info@crea.wakayama-u.ac.jp

東北大学：

工学研究科航空宇宙工学専攻 吉田和哉

TEL: 022-795-6992

E-mail: yoshida@astro.mech.tohoku.ac.jp

工学研究科情報広報室

TEL : 022-795-5898

E-mail : eng-pr@eng.tohoku.ac.jp